

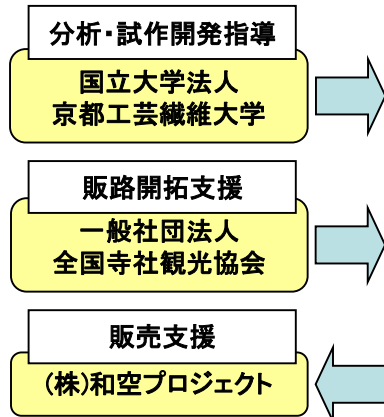
地域	京都府京都市	認定日	平成29年6月9日	5-29-212
事業分類	サービス(その他)	テーマ分類	その他	

**事業名: 伝統技術の継承早期化と新商品開発・海外展開による
伝統産業サービス向上プロジェクト**

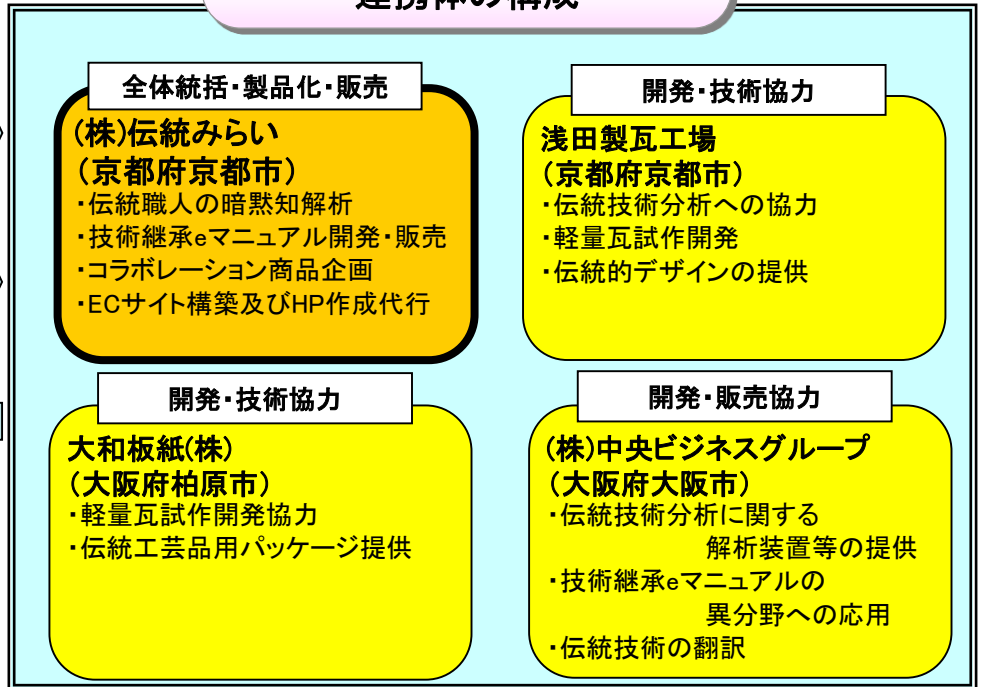
○事業概要(新規性、市場性等)

- ・本事業は、後継者不足が深刻化する伝統産業において、後継者育成及び技術継承早期化を目指し、熟練の伝統職人の暗黙知(コツ)を解析し、技術継承eマニュアルを開発及び販売する。
- ・また、開発した技術継承eマニュアルを異分野へ活用し、新しいものづくりに応用することで伝統産業以外への新規参入を目指す。
- ・コラボレーションの商品企画により京瓦やその他伝統工芸品に合ったパッケージを開発する。更にコラボレーションにより軽量京瓦を開発することで新市場開拓を目指す。
- ・ECサイトを構築し、伝統技術・伝統工芸品に付随する歴史・文化的背景を交えたストーリーを紹介する。また、外国語への翻訳には省略されがちな専門用語や歴史についても丁寧に翻訳し、伝統産業への理解を深め、販売促進につなげる。

事業推進体制

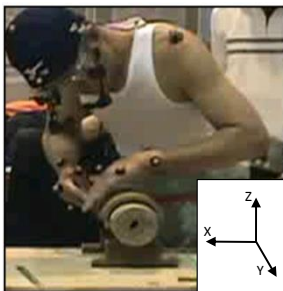


連携体の構成



支援予定メニュー

- ①補助金
- ②低利融資
- ③信用保証
- ④特許料減免



【伝統技術の分析】
京瓦製作工程における動作分析



【試作品イメージ写真】
漆と蒔絵により装飾され、京瓦の
風合いに合った板紙パッケージ



【軽量瓦の試作開発】
壁面材や屋根瓦に使用する京瓦の
軽量化

連携のきっかけ、特徴

- ・伝統産業における後継者不足は深刻化しており、「匠の“技術・技能の継承”をいかにして行うか」という技術的な問題と、「“伝統産業”の継承に時間がかかり先代から引き継いだ後、事業がうまくいかなくなる」といった2つの問題がある。
- ・このような中、(株)伝統みらいの前身である“NPO法人伝統みらい”は、匠の技を新しいものづくりに応用するための研究を推進してきた。その事業を更に発展させるため、(株)伝統みらいとして新規事業を行っていくこととなった。
- ・浅田製瓦工場は京都で唯一「京瓦」の製作をする工場であり、手作りによる京瓦の技術を継承している。しかし後継者がいないこと、また京瓦製品に合ったパッケージ及び伝統工芸品認知度向上の必要性を感じていたことにより、後継者不足解消に向けた事業を行う(株)伝統みらいと、新市場開拓を目指す大和板紙(株)と連携を組むこととなった。更に、(株)伝統みらいが作成した技術継承マニュアルを異分野へ活用するため、(株)中央ビジネスグループと連携することとなった。
- ・また(株)伝統みらいは、連携により開発したコラボレーション商品や伝統工芸品を海外にも販売するため、ECサイトを構築し、歴史・文化的背景を交えたストーリー性のある説明を、丁寧な外国語翻訳により紹介する。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	(株)伝統みらい・代表取締役 太田 智子	
所在地	京都府京都市伏見区舞台町5	
創業	平成29年2月	
資本金・従業員数	300万円	1名
業種	他に分類されない専門サービス業	
TEL	06-6943-4412	
FAX	06-6943-4414	
ホームページ	—	
e-mail	promotl@gold.ocn.ne.jp	

PR等その他の情報

- ・当社は、多くの伝統職人と関わる中で、伝統技術同士及び伝統と新しい技術のコラボレーション商品企画、販路開拓、販売活動を行っております。
- ・当社の特徴は、NPO法人伝統みらいとして培ってきた伝統技術の分析ノウハウ及びそれを用いた教育ツールの作成に加え、京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センターと連携している匠の方々との共同研究成果を広く海外の学会で発表、日本の技術をPRしていることです。